

中国地方紀行 -新造船撮影行-

2023-10-8 池田良穂

学会誌 Cruise & Ferry 36 号の新造客船紹介ページに必要な写真を撮るために、先のニュースで配信させていただいた青森紀行に続いて、中国地方の新造客船の姿を撮影するために広島、山口・萩、そして京都・天橋立と廻りました。広島では江田島市の建造した「瀬戸ブルー」、萩では萩海運の「あいしま」、天橋立では丹後海陸交通の「かもめ 7」の 3 隻の客船がターゲットでした。

一筆書きで広島、萩、天橋立と中国地方から関西地方まで車で回りましたが、広島では「瀬戸ブルー」がドック入りしていて会えず、後日、改めて広島に往復することになりました。

各地では、新造船だけでなく多くの船たちが活躍しているのを見て、元気をもらうことができました。

広島・宇品港



広島港の宇品に入港してくる新造船「瀬戸ブルー」です。双胴間に水中翼が設置されていて、揚力で浮上して高速をだすとともに、運動制御もしています。船体は江田島市が建造して、運航は瀬戸内海汽船グループの瀬戸内シーラインが行う上下分割方式です。



広島-呉-松山航路の石崎汽船のカーフェリー「旭洋丸」です。



広島-呉-松山航路の瀬戸内海汽船のカーフェリー「シー・パセオ」です。



広島-呉-松山航路の石崎汽船の高速旅客船「瑞光」です。双胴間の中水翼に働く揚力によって船体がかかり浮き上がっているのがよくわかります。



瀬戸内海汽船の運航する高速クルーズ客船「シー・スピカ」です。



広島港から一斉に出港していく小型カーフェリー群です。先頭を行くのは「入船」(画面中央)、次が「第十こぶじ」、そしてしんがり「第十きりくし」(画面右)です。

瀬戸田



瀬戸田の内海造船で艤装中の「フェリー第十二おおすみ」の姿を見ることができました。瀬戸田の沢港から三原の須波港を結ぶカーフェリー「第二かんおん」船上から撮影です。先に竣工した姉妹船「フェリー第十一おおすみ」と共に鹿児島島の鴨池と、錦江湾を渡って対岸の垂水との間に就航します。「フェリー第十一おおすみ」は、白とマゼンダのツートンカラーでしたが、同船は全身マゼンダ色の姿です。



沢港～須波港までのフェリーの上から今治造船広島工場で建造されるフランスのコンテナ船の姿が遠望できました。同造船所には、数年前までは1万TEU超の大型コンテナ船がずらりと並んで艀装されてきましたが、今は、一回り小型のコンテナ船の連続建造となっています。超大型コンテナ船の建造ブームもピークを迎えたようです。



須波港に上陸してから広島宇品へ行く途中で寄った竹原港では、カーフェリー「第五さんよう」と高速旅客船「しまなみ」の姿がありました。



竹原港に入港する「とうほう」です。以前は、少し離れた所にターミナルがありましたに移ってきたようです。

萩



萩港に入港する萩海運の新造船「あいしま」です。この船から萩～相島航路の貨客船も、カーフェリー型になりました。当初は鈴木造船で建造され、進水までしたものの重量の大幅超過が発覚してキャンセルとなり、改めて三菱造船での建造となり、2年遅れでの新造船就航となりました。



港には「あいしま」就航まで萩～相島航路に就航していた貨客船「つばき 2」が係留されていました。



萩～大島航路の「はぎおおしま」の出港風景です。

天橋立



天橋立棧橋に近づく新造船「かもめ 7」です。天橋立棧橋と一の宮棧橋まで、天橋立に沿って10分間の航海時間です。



一の宮棧橋に入港する「かもめ 7」です。船上から鷗の餌付けをしているので、いつもまわりに鷗が飛んでいます。



一の宮棧橋に繋がれている「かもめ 11」と「かもめ 12」の姉妹船です。